

令和2年4月吉日

関係各位

福岡市泌尿器科医会前立腺がん検診委員会
委員長 古賀 寛史

寄付金趣意書

拝啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、福岡市泌尿器科医会前立腺がん検診委員会は、前立腺がんの急増の現状に鑑み、前立腺がん検診の普及と対策を積極的に推進するために福岡市泌尿器科医会の一組織として、平成8年2月に発足いたしました。

前立腺がんは、消化器がん・肺がん・子宮がんなどに比べて一般の関心が薄く、日本泌尿器科学会では死亡率減少効果が明らかとして前立腺がんを推進しているものの、国の対策型検診としては行われていないのが現状です。当会では発足以来、医師会や保健所に働きかけ、行政他各方面にご理解いただき、平成10年度からは福岡市主催のミニドックの中で前立腺がん検診としてPSA検査を行うことになりました。平成20年度からはミニドック終了に伴い前立腺がん単独検診となり、職域で受診機会のない55歳以上の福岡市民を対象として前立腺がん検診を行っております。市民の関心も高く、別紙のように平成23年度以降の1次検診受診者は10,000人レベルの検診に発展しております。毎年の検診結果は福岡市医報第1号に結果を公開しており、今後も適切で精度の高い前立腺がん検診を福岡市民に提供していく所存です。

当委員会は福岡市泌尿器科医会の経費や精密検査実施医療機関からの登録料、委員年会費、福岡市からの委託費、および寄付金で運営してまいりました。2019年度収支報告のとおり繰越金を残していますが、安定した事業運営のために応分の繰越金が必要となります。

そこで 本会の趣旨をご理解いただき、本年度も昨年同様、是非ご賛同・ご援助賜りたいと、ここにお願いを申し上げる次第でございます。

当会といたしましては、前立腺がんの早期発見・早期治療を通して市民の健康に寄与し、あわせてとともに前立腺がん検診の有用性検証のために今後も活動を続けていく所存です。

つきましては、諸般ご賢察の上、何卒よろしくご配慮の程お願い申し上げます。

敬具